



# 七ヶ宿町人口ビジョンを策定

～平成52年の人口目標を1,062人とします～

町では、まち・ひと・しごと創生法に基づき七ヶ宿町人口ビジョンを策定しました。その概要をお知らせいたします。

## 1 町の将来人口推計

国立社会保障・人口問題研究所と町の推計によると、平成52年(2040年)の七ヶ宿町の人口は、平成22年(2010年)の1,694人から823人減の、871人になると見込まれています。  
更に、平成72年(2060年)は574人と、平成22年(2010年)の約34%まで減少すると試算されます。

## 2 人口の将来目標

平成72年(2060年)までの七ヶ宿町の人口推移について、独自推計といくつかの仮定をもとに試算しました。独自シミュレーション②では、出生率の上昇に加え子育て世帯が転入した場合、961人となり、さらに

学生やリタイア組のUIJターンも合わせた場合のシミュレーション⑤では、1,062人となっています。  
七ヶ宿町の総合戦略の効果的な施行及び国の総合戦略による効果により、平成52(2040)年の目標人口を1,062人とし、その後人口減少の影響を最小限に抑えていくこととします。

## 3 目指すべき七ヶ宿町の姿

本町においては、少子高齢化の問題に長年取り組んできましたが、人口は今後も減少していく状況が予想されます。

このままのペースで人口減少が続けば、町の財政悪化、社会保障給付の増加などにより現役世代を中心とした負担の増大が懸念されるほか、公共交通の便数の減少、小売業の撤退等で買い物が不便にな

【2040年における町の人口推計シミュレーション】

平成27年(2015年)	推 計 条 件	平成52年の人口推計(2040年)
1,542人	独自シミュレーション① 2015年の出生率1.36が2025年までに1.80、2040年までに2.1へと上昇し、2060年まで継続した場合	785人
	独自シミュレーション② 独自シミュレーション①に加え、子育て世帯が転入した場合(0～9歳の子ども1人がいる20～39歳の夫婦10組/5年間)	961人
	独自シミュレーション③ 独自シミュレーション①に加え、学生が卒業後UIターンした場合(20～24歳の男女各5人/5年間)	844人
	独自シミュレーション④ 独自シミュレーション①に加え、リタイア組がUIJターンした場合(60～64歳の夫婦5組/5年間)	836人
	独自シミュレーション⑤ 独自シミュレーション①～④すべてを考慮した場合	1,062人

【町の将来人口推計】

